

[ 野川流域連絡会 ]

( 第 1 回 会議録 )

日 時 平成 1 2 年 8 月 3 0 日 ( 水 ) 1 8 時 ~ 2 0 時  
場 所 調布市文化会館 1 2 階会議室「たづくり」

「野川流域連絡会」事務局  
東京都北多摩南部建設事務所工事第二課  
電話 0 4 2 - 3 6 4 - 4 6 5 1

1. 開 会
2. 所長挨拶
3. 委員紹介
4. 座長選出
5. 座長挨拶

座 長：河川は流域全体で考えていくことが大変重要だと考えているので、今回引き受けた。

流域全体の環境が良くなるよう努力し、皆様方の手伝いをさせていただきたいと思っている。

東京農工大に赴任（昭和49年、1974年）後、野川を見始めてから25年に至っている。

その間、水質・水量・景観等変化してきており、又上流から下流に向かい水質・水量・景観の違いや変化が著しいことに気がついていた。

河川は流域単位で考えることが大変重要であり、その考え方が最近定着してきたように思われる。

今までも市民サイドからは、野川サミットが開かれてきたが継続した会がないということもあった。

行政の枠を超えると管理が違うということも見受けられた。

野川を流域単位で考えていくことが、この会の目的であると思う。

野川流域の諸問題を皆様方と考えると、その解決のために手伝っていきたいと思っている。

[ 設置要綱（案）の趣旨説明について ]

座 長：設置要綱（案）の趣旨説明を事務局の方から説明願いたい。

事務局：6 / 30に開催した「設立に向けた準備会」の席上で説明済みであるので、今回は訂正箇所のみ説明させていただきます。

（設置）第1の文面のなかで

（当初）河川に係わる情報や意見交換を行うこと  
を委員の提案とおり、

（変更）河川に係わる情報や意見交換及び提案等を行うこと  
に訂正する。

（所掌事項）第2の文面も

（当初）次に掲げる事項の情報や意見交換を行う  
を

（変更）次に掲げる事項の情報や意見交換及び提案等を行う  
に訂正する。

（座長の職務及び代理）第4の文面も準備会の中で提案されましたとおり

（当初）委員の互選により  
を

（変更）委員の互選又は推薦により  
に訂正する。

事務局：その他の項目は、変更ありません。設置要綱（案）の趣旨説明は以上です。

座長：これについては、6 / 30の準備会で十分検討されたかと思えます。これに基づいて説明のあったように訂正したとのことであるが、この設置要綱（案）について何か意見がありますか。

委員：意義ありません。

座長：それでは、設置要綱（案）をこれで決めさせて頂きます。（案）をとらせて頂きます。

次に第4-2で委員の互選より副座長を置くこととなっているが、どなたか副座長を推薦して頂きたいと思えます。或いは自薦でも結構です。

委員：副座長は1名でしょうか。

座長：特に1名と書いてないので、場合によっては2名でも宜しいでしょうか。

事務局：この段階で1名を想定していたが、委員の方々の都合もあることでしょうかから2名でも支障ございません。

座長：2名でも差し支えないとのこと。どなたか

委員：事務局に一任します。

座長：事務局一任ということですが、どなたか腹案がありますか。

事務局：腹案はありません。神谷先生いかがでしょうか。お忙しいでしょうか。

座長：神谷さんと言う声があったんですが、如何でしょうか。

神谷委員：何名か候補をだしたらいかがでしょうか。

座長：1人神谷さんと言う推薦がありましたが他にどなたか。2名でよければもう1人は女性ということも考えられますが。

勝並委員：辞退

水村委員：辞退

座長：とりあえず、今回は副座長は神谷委員にお願いし、どなたかいれば事務局のほうで再度折衝することで如何でしょうか。

委員全員：拍手で了承

座長：本日は神谷委員を副座長として推薦させて頂きます。又もう1名適当な人がいればお考えを聞いて頂いて決めさせてもらいます。

座長：次は運営要領（案）について、事務局の方で説明願います。

事務局：運営要領（案）についても、改正点を重点的に説明させて頂きます。

これも6 / 30の準備会中で、お話し頂いた箇所を直しました。

（公開）1で

（当初）連絡会は、原則として公開とする。但し連絡会の決定により非公開とすることが出来る。

を

（変更）連絡会は、原則として公開とする。

但し書き以下を抹消する。

(会議録) 5 - 2 ) 及び ( 都民委員 ) の項について

(当初) 募集委員 と表記した文章全て

を

(変更) 都民委員

に名称変更する。

( 会議の席上では、誤って募集委員を公募委員と表現した )

座 長：これについてご審議願います。

江刺委員：質問があります。委員の代理出席は認めないということは、30日に決定したのでしょうか

事務局：色々と話がでたが、基本的には代理出席はご遠慮願いたいということで決まったと解釈しております。

江刺委員：都民委員でも会を代表して出ている場合は、元へ戻れば必ず内部討議がなされて出てくるというのが前提な訳です。

実際には今日も大勢の方が欠席していらっしゃいますけれども、交代が認められれば賑やかに意見交換が出来ると思うのですけれども如何でしょうか。

座 長：30日の準備会では、代理は認めない方向でほぼ決まった言うことであつたのでしょうか。

事務局：会の継続性もあり原則的には代理を認めない方向でありました。

委員の方が都合悪く出れなくて、代理と言うことであれば別にこの連絡会の委員の方々に凶れば問題ないかと思う。

委 員：前回の議論の内容で認識がちょっと違いと思う。

原則的には交代することはまずいけれど、会によっては少人数で意見が十分交換ができるところについては、認めてもよいのではないかと議論になったかと思われるが。

所 長：そういうことであれば改めてここで、絶対拒むということでもないので、皆様のお考えでもう一度整理をして頂ければと思います。

座 長：それでよろしいでしょうか。

継続性の問題があるので、出来るだけ同じ方のほうが好ましいけれど、どうしても都合の悪い時もございますので、その時は代理も差し支えないのではということですが、その辺いかがでしょうか。

とりあえず、最終的に決めて頂いて結構ですが。

座 長：代理を認めるということで、よろしいでしょうか。

文面には、特に代理は認めないと書いていないですね。

所 長：特にここで規定して、要綱、要領等に定めはなくても 皆さんの意見を集約する形で議事録に残しまして、代理と言うことで在れば、その席上で代理であるということを書いて頂くことで整理をさせて頂ければと思いますが如何でしょうか。

座 長：今の所長の整理で如何でしょうか。

特に要綱等でうたわないと言うことで。

座 長：そんなことでよろしいでしょうか。

委 員：質問があります。

代理というのは、団体委員だけですか。個人委員は当然代理ということは、ないですね。

所 長：そういうケースも出てくると思いますので、今のようなお話を差し上げました。逆に義務感で代理を出さなくてはならないとなっても、これは又別の縛りとなるのかと思います。

「私が代理で出ました」ということを、その場で言って頂ければ、そのことをこの会として拒むような理由も特にないので、今日はこの会議録をもって確認をさせて、進めて頂いたら如何なものかと思うのでございます。

座 長：宜しいですか。今の件は。

代理の場合は、その都度会の始まる前に、今日はこういう者が代理で出席していますという確認をとることで、良いのではないかとということですが、ご意見ありますでしょうか。

委 員：意義ありません。

座 長：はい、有り難うございました。異議なしということで、そのような形でまとめさせて頂きたいと思います。では、これを議事録で残しておいて下さい。

座 長：大変有り難うございました。

それでは、この設置要綱・運営要領を決めさせていただいて（案）をとらせていただきます。

座 長：次は肝心の情報・意見交換となります。

これが先ほどの説明で会場が8時までということで、あまり時間が無くて本来ですと最初の集まりですので、出席された方全員に野川についての思いだとか、それぞれの地域で課題をお考えになっていることと思います。

それについて、述べて頂きたいところですが、これだけの人数ですと思いをのべて頂くと、とても時間が足りないということがございます。

一方では、出来るだけ多くの方の意見を今回集約をして聞きたいということもあります。

そんなことで、事務局の方でどんなことを考えられるか、ということ相談したのですが、事務局の方で少し提案があるということで、少し紹介をしていただいで、それでよろしければ、やってみたいと思います。

それでは、お願いします。

所 長：今、座長からお話がありましたが、お互い人数が多いということでその方々が一人2分くらい喋って頂いても100分位かかることになるだろうかと思います。

それと、やはり出来るだけ来ていただいたからには、十分お話を聞くだけでなく、出来るだけ積極的な発言をして頂きたいとのこともございます。

提案でございますけれども、さしあたって、将来的には例えば分科会方式のようなものをつくって、各テーマ毎にお集まり頂いて、その各分科会でのお話し合いの成果を、この場に出して貰うことになることかと思っておりますけれども

今、いきなりそういったことを始めても、どういうことに関心をお持ちなのか或いは、どういうことに思いがあるのか、なかなか解りませんから、宜しければ、まず、流域を上流域と中流域、下流域の三つ位に分けさせて頂き、行政単位で、本来的には川は座長からお話があったように、流域レベルで考えていかなければならないものと思いますけれども、差しあたって行政単位くらいでお集まり頂いておりますので、上流域としては国分寺市と小金井市、中流域としては三鷹市、府中市、調布市、下流域としては狛江市、世田谷区とこういうような三つに大きく分けて、少しグループを作って頂いて、そこでお話し合いを頂く。

話し合いを頂く方法については、特段の方式は決めませんので、その中でグループのリーダーと書記のような方を選んで、そして、そこで様々なテーマですとか思いですとか先程座長が言われた課題ですとかについて、お話し合いをしていただきながら、整理して、今日の会議でグループ毎に、どんな話し合いが出来てどんな整理ができたか、まとまらないところもあるかと思いますが、それでも構わないと思います。

そうしたことを最後にまとめて頂いて、この場で発表して頂く。

こういう形の席で、何か非公式な席ですと話をしにくいものですから、グループの、少し事務局の方で机をいじりまして、塊を作ります。

そこに模造紙とか、マジックインクとか、ポストイットとか付箋紙の大きいのがございますので、それを使って、それぞれの方々がどんなことを考えているのか、各リーダーさんにお任せ致しますので、それぞれのリーダーさんが整理をして発表して頂くことで如何なものでしょうか。

30分間位、グループ毎の議論をして頂き、そのあと15分間位でグループでの意見交換のをまとめをして貰う。

最後の15分間位を発表の場にさせていただいたら如何なものでしょうか。

トータルで1時間位で出来ないだろうか。

最後の発表は15分ですから、各チーム5分位というような形で。

まず、そういうようなお話し合いはいかがなものかなと。

こんな風に事務局は提案したいと思います。

座長：只今のように提案がございましたが如何でしょうか

流域で考えるといいながら、三つに分けるということは心苦しいですけれども、とりあえずは、それぞれの地域でどんな課題があるのか、あと、例えばポストイットで課題をそれぞれ書いていただいて整理をして頂く。

それぞれの上中下流域では括れない流域全体という課題もあろうことかと思えます。

それはそれで、別の用紙のポストイットで流域全体というかそれを、どこかに設けて頂き、そこに課題を張って頂く。

そんなことで如何でしょうか

所長のほうからそんな提案がございましたが、宜しいでしょうか

まずは、時間が今日は余り無いということで、どんな課題をそれぞれがお持ち

かということで、とりあえずやってみませんか。

宜しいでしょうか。有り難うございます。

それではご提案とおり、少し進めてみたいとおもいます。

所 長：そうしたら、グループ毎に大きく三つに分けますので、それぞれの流域でいまお話し上げた地域単位にお集まり頂いて、事務局が机を動かしますので、ご自分の名札をいったんもって頂いて、席をお立ち願います。  
事務局の方で席を整理しますので、よろしくお願い致します。

————— グループ毎に集まり討議 —————

所 長：有り難うございます。約束の大体7時20分となりました。始めてから30分たちました。

そろそろ、今すぐとは言いませんがまとめる心構えでお願い致しまして、7時35分位を目途に発表の心づもりを、お願いしたいと思えます。

致します。宜しくお願い致します。

座 長：それぞれの三地域でまとめ方も違って、これも又おもしろいものです。

恐縮ですが、時間も限られますので後5分ほどで主な課題を発表して頂きたいと思えます。

座 長：まず、上流域のまとめ役はどなたですか

平井さん上流域の小金井、国分寺市のまとめ役ということで、時間が無くて恐縮ですがポイントをお願いいたします。

上流域（発表者：平井委員）

〔発表要旨〕

上流域は水量・水質・川の形・生き物に関する問題に大きく分けた。

水量の問題について

湧き水や河川の流れについて水量に対するのデーターを知りたい。

水量確保のために、砂川用水を復活して野川につないでもらいたい。

水質の問題について

生活排水が、下水とどうつながっているか解らないが、一部放流していることが、あるらしいこと。

川に側溝が流れ込んでいるところで、ペンキを洗ったり、洗車排水を流したりしているのを見かけるが、何とか出来ないか。

大雨が降った時に、下水からのオーバーフローが川を汚しているのは、大きな問題である。

野川処理場の情報が少ない

防災用水としての見方

川の形について

貫井神社の湧水を使った遊歩道計画の見直し

ワンドや段差、蛇行を意識した川づくりを行う。

生き物について

高水敷の草刈りのあり方を見直して貰いたいこと

他に

生態と景観と調和した川づくりを考えていこう

生き物にやさしい川づくりを行うこと

座長：大変有り難うございました。何か上流グループで補足することはございますかよろしいでしょうか。やはり地域に住んでみないと解らないことがあります。それでは、中流域といたしますか調布、三鷹、府中のまとめを門傳委員お願いします。

中流域（発表者：門傳委員）

[発表要旨]

中流域は上流域と同様、水量の問題、水質の問題・生物の問題・施設設備の問題・情報提供の問題それから全体像と六つに分類した。

水量について

武蔵野線地下水の下水放流分の詳しい情報と早く流してほしいこと。

枯れないようにして貰いたい。（水がなければ川でない）

水質の問題について

合流式を分流式にして貰いたい。特に相曽浦橋の部分を早急に直して貰いたい。

湧水の汚染を防いでもらいたい。

新しい処理場の分が大量に流されることは、高度処理とはいえ水質の問題がある。

生物の問題について

貴重な生物も戻ってきている中で、処理水による影響があるのではないか川の中に木や草のある、自浄作用のある川にしたい。

施設設備の問題について

流域下水道の問題で、このような大きな施設が本当にいるのか

フェンスがつまらない。高すぎる等

情報提供の問題について

情報提供が不足している

その他

湧水主体の川を守ることが基本であり、ただ量を流せばよいと言うものではない

座長：有り難うございました。中流域で何か補足することはありませんか。

よろしいですか。有り難うございました。それでは下流の神谷委員お願いします。

下流域（発表者：神谷委員）

[発表要旨]

下流域ででた話としては

最初にでた話は、水量と水質の問題である。

又生き物系の話もかなりたくさんでた。



国分寺崖線全体の水と緑を守っていこうということ。

野川の湧水を保全することが第一である。

外環道の問題もでた。

下水道及び処理場の問題。

河川改修の問題（川をいじることにより影響がでるといふ心配事が多い）  
ゴミの問題、子供達、高齢者、障害者に対するいこいの空間を作るといふこと。

野川全体のことを知ること。流域外のこと。野川だけでなく仙川の影響までも一応考えないと汚れの問題も解決しないであろう。

下流域での場合、何が一番問題なのか、何が関心事なのか最後に話してみた結果、生き物系の話を第一にしたいとのこと。

メダカがいるのは、下流域だけではないのかとか。

カワセミや鳥にしても、昆虫にしても、ウグイにしても、この辺の話が弾んでいた。カワセミの巣がどこにあるのか確認したとか

問題のほうは、

外環道の状況が解らないんですが、かなり大きな影響がある課題と思われる。

下水処理場等、下水関連の話が下流にとっては大きな問題であると共通認識をもっている。

改修がらみの話では

改修の際に土手の大木が切られる話

兵庫橋の左岸の緑を守ってほしい

直線化に対する心配

住民参加で改修について考えていこう

野川の景観について考慮していきたい

いずれにしても、最下流部については河川改修が必要であるという前提で始まっているが、その中でも

ア．散策できたり、遊べたり、新しい流れに人が入れるようにしたり、多摩川と一体化したゾーンにしたい。

イ．幼児から高齢者、障害者の方までがふれあえる場所にしたい。

とか少し積極的な意見もでた。

ウ．代表者の方からカワセミの住めるような護岸づくり

エ．管理道の木について何を植えるか等

色々な話が出たが、下流域についてはそんなところです。

座長：有り難うございました

委員：下流域の川に入って遊ぼう。水に親しむとすることで、子供達が水に入るとカワセミとか鳥の巣が子供達に荒らされてしまうのではないかと、そういう意味で、水に親しむということと、生き物を大切にしていこうという相反する中でどういう風に考えていくかが、話の中でありました。

座長：そうですね。大変重要なことと思います。ありがとうございました。

大変良い試みであったのではないかと、三つに分け、色々な課題・重複する課題・それから地域特有な課題が抽出されてきたような気がします。これを基に今後は、事務局の方でそれぞれ、地域ごと、課題別のマトリックスをつくって整理をして頂きたい。

整理した結果を又皆様に情報提供して、その際に今日のまとめ役に又相談することになるかと思えます。

全体で何かご意見がありますでしょうか、時間もあまりないですが。

委員：この会は年2回ということですので、ただ、沢山のテーマも出されましたので、分科会も含めて、今後の進め方はどんな風になるのかと

座長：はい。それでは、最後のテーマの今後の進め方に行って宜しいでしょうか。今後の予定を含めてどんな風にやっていくかと。

他に全体で、今日の課題についてご質問、ご意見は

阿部委員：下流の方にお聞きしたいが、子供さん達が下流で水で遊ぶと言っていました。降りられるのでしょうか。私よく解らないのですが、河川敷に子供さん達が遊べるようになっているのでしょうか。

委員：喜多見まではあるんですが、喜多見から鎌田までにかけては、護岸の高さが2, 3m以上ありますから、現在は河床に遊ぶことは出来ない。

それを、七建の工事をすすめる中で、階段をつけて子供達が遊ぶ場所を作ったらと申し出したらどうかと思えますけど、事実 そういう問題は考えてやっていきたいと言っているが、ただ 子供達が遊んでいたら、生物は荒らされると、そういう心配があります。せっかくカワセミがいるのに子供達が、出入りすることによって生態系が壊れるのではないかと。

阿部委員：それは、中流、上流にもございます。中流、上流は子供達が遊べるようになっている。

委員：私は上流まで歩いてございますが、中流はほとんど中で遊べるようになってますが、下流は喜多見のふれあい公園から下流にかけてほとんど堤防の高さが大部ありますから、現実的にはちょっとできないと思えますが。

座長：ありがとうございます。ほかに何か、あとお二方ばかり。

委員：只今、子供達が遊べるとか何とか言っていましたけれども、私はそこにも書いてありますが、三鷹の相曽浦橋のすぐそばに住んでいますが、合流式の下水道が、合流式でもいいんですが、合流式ですと普通それを污水处理場までもって行って、処理して放流するわけですが、ところがここだけは、合流でも、大雨が降ったとき、下水管の中をかき回して、一部を野川に放流している。

それと、いわゆるご承知のようにトイレの中身とかが、あそこから流れていって、それをよくご存じないから、子供達を遊ばせたら非常にふえいせいである。是非、あそこだけは、分流式に改造しないと、今度出来る調布飛行場跡地に相当大きな規模の処理場が出来ますが、その処理水の水を放流する場合は、二次処理、三次処理をしてからでないと、流さないという申し入れをしたいにですが今の相曽浦橋の垂れ流しの状態を黙認していたら今度出来る污水处理場では高度処理して流してくれなんていえなくなる。今後の問題もあることから、是

非この問題だけは、改善してもらいたいと思うわけです。ですから、それまでは子供なんかを遊ばせていたら、非常に不衛生であります。以上です。

座長：有り難うございます。では中本さん最後に

中本委員：昔は、玉川上水の分水の流れが、いっぱいあったが、ほとんどいまは道路になったり、何か外になったりしている。

今まだ昔の状態が残っているところもあるわけですが、それを地方分権でのなかで、市や区に行くと、道路にしてしまうとか、遊歩道とかになる。

是非、水路のままで残していただけないかと思う。そうしないと湧き水が枯れちゃうと思って、是非お願いしたいと思います。

座長：はい、有り難うございました。思いを何人かの方に語っていただきまして、丁度予定の時刻になってしまいましたが、開始が10分遅れたので、あと10分程すみませんが、延長させて下さい。

それでは、今日は色々な意見が出されましたので、今後の予定はどういう風にこの連絡会を進めていくのか、そのためにどんなプロセスをとっていくのか、その辺を事務局の方で整理して、こういう点について、ご提案下さい。

所長：今日は本当に有り難うございました。

座長からの今後の予定はどう考えているのかと言うようなお話でございますので、いい悪いは皆さんにまたご意見もあるかと思いますが、

私どもが今考えていることをご披露させて頂きますと、今日折角沢山のポストイットを書いて頂きましたので、これを何とか取りまとめをしていきたいと思っております。

先程座長からお話がありましたように、とりあえず整理をしていきたい。

今のところ、上流域、中流域、下流域でお話し合いが出来ましたので、それぞれの課題が出ておりますので、それから又流域にまたがる大きな問題としての色々な課題が出て参りましたので、それらを一表にして、そして整理をしていく。

マトリックスを作るといいでしょうか。上流域ではこういう問題がある。中流域ではこういう問題がある。下流域ではこういう問題がある。これら全体をと通じてこういう問題がある。それらが全部解るようにして、そして皆様にお配りをしたい。同時にやはりいくら議論をしても、先程お話があったように下流域はどうですか。上流域はどうですかと、こういうお話もありましたので、皆さんに現場を見ていただくのが、これが一番ではないかと思えます。

それを一度に全部流域を見ることは、大変な話で途中で倒れてしまってもいけないわけでごさいます、1/3位づつ分けてごらん頂いたらどうかと考えております。そのまとめをして皆さんにお送りする時間をしばらく頂きたいという事と季節が適当な時期に現場をごらん頂くというような事をかんがえています。

上流からやるか、下流からやるか、これはまたあらためて検討したいと思えますけど。

いずれにしてもとりまとめを、まず皆様にお送りいたします。

それから、現場を見る日にちを設定しまして、本日頂いた意見を例えば現場で意見交換をする。というような事をやっていったらどうかと思っております。そうしますと、上流域で1回、その場合色々な意見も出るでしょうから、又それをまとめてお送りして、第2回の現場見学と言うようなことで、如何でしょうか、そしてまた第3回の現場見学と。そんな流れで進めて参りたいとこんな風に思っております。

で、一連の1, 2, 3回の現場見学が終わる頃には、皆さん相当気心も知り合うでしょうし、上流だ、下流だ、中流だと、そういうことが無くなると思いますので、そこで分科会単位での何か議論を。また関心のあるところにお集まり頂くとか、逆によくわからないところに入って頂く。それはどちらでも結構でございます。

そういったような事を中心に、またこういう集まりをして、進めていったらどうかと思っております。

具体的な日にち等については、今後又座長ともご相談申し上げながら、ご連絡申し上げたいと、こんな風に思っておりますが如何でしょうか。

座長：はい、有り難うございました。今日出して頂いた色々なご意見を、事務局の方で整理をして、それを取りまとめて頂き方、解らないことを聞きながら、まとめてとにかく配布をする。そういう状況で三つ位に分けてフィールドワークをしてその課題について、現場で実際見て頂くと。そこで又意見交換をすると。そういうことをやった上で、第2回目でしょうか、それのこの連絡会を開いたらどうかとのご提案でした。  
そんな流れで如何でしょうか。

委員：一同拍手で賛同

座長：有り難うございました。そんな流れで是非整理をして頂いて、それを各委員に配布をして頂くと。それを見ながら又実際に現地で。  
現地はちょっと遠いというか、長いのですが出来るだけ参加を頂くと。そんなことで、お願いしたいと思えます。それが終わった頃に第2回と。  
それから、もう一ついろんな共通で情報が不足しているというご意見が沢山ございました。出来るだけそういう情報は、公開されているものは、各委員にも（公開するには）どんな形がよろしいでしょうか、一つその仕組みも考えさせて下さい。どんな形かここ（ポストイット）にも多少でているかもしれませんが。  
情報が不足して、それを是非知りたいと言う意見がかなりあったと思うんですね。それを是非まとめるなり、どういう形でやったらいいかちょっと考えて頂きたい。

所長：ちょっと、その件について

そういった情報を、現場でお話できることは出来るだけ現場でお話したいと基本的におもいます。

それから、資料ということで情報提供するようなものについては、この第2回流域連絡会でだろうと思えますけれど、それまでにどんな資料が見たいか、知

りたいのかと言うことを、承っておいて、そして皆様にお配り出来るものは、出来る限りお配りするという方法で考えていきたい。  
紙については、現場にこられたり、こられなかったりする方がおられますのでこういった会でお配りしたいと。

座 長：有り難うございました。その他何かございますか

今日は最初の第1回、準備会もあったせいかと思われませんが、市民の方と行政の方と、一同に会して野川の流域についての思いをお互いに語るという大変良い機会であったと思います。

それで、どんどん思いがまとまって、それを実際に現実に生かして行くような、そして、それが逆に活かしていければ、とりあえず流域連絡会の意義が出てくるのではないかと、言うふうに思います。

第1回にしては、私は大変おもしろかったと思って、これで閉会でよろしいでしょうか。どうもありがとうございました。

所 長：どうもありがとうございました。これは（各グループの発表資料）大事な宝物ですから、私の方で確かに預からしてもらいます。どうもありがとうございました。